

科目名称: 幼児と造形表現					
担当者名: 永坂晃子					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	1年後期	講義	必修	2	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り		ナンバリング		24107260
授業概要: 幼児の表現の姿や表現の発達及び発達を促す要因、さらに造形表現の意義について、体得的に理解する。幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などを実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能、表現力を習得する。					
到達目標: 幼児の表現の姿やその発達について学び、造形表現の基礎的な知識・技能を習得するとともに幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 造形表現とは何か			前期保育・教職関連科目の理解と、授業への興味関心		
第2回 幼児の造形表現の発達			指示された物品の準備(20) 授業シートの作成(15)		
第3回 身近な自然に触れ、見て、聴いて、感じる			授業シートの作成(15)		
第4回 身近な素材の特性に触れ、見て、聴いて、感じる			授業課題のための材料・用具の収集(50) 授業シートの作成(15)		
第5回 身の回りのモノによる造形遊び			授業課題のための材料・用具の準備(40) 授業シートの作成(15)		
第6回 身近な遊びや生活に心が動いたことをもとに造形で表現する			指示された物品の準備(20) 授業シートの作成(15)		
第7回 コミュニケーションとしての造形表現			第7回内容の自主補習(120)		
第8回 幼児の造形表現との対話			授業課題のための材料・用具の準備(40) 授業シートの作成(15)		
第9回 自閉症児・者の絵画への理解			レポート課題への取り組み(90)		
第10回 文化との対話			レポート課題への取り組み(90)		
第11回 イメージを造形で表現する			授業課題のための材料・用具の準備(40) 授業シートの作成(15)		
第12回 ICTを活用した表現活動			授業課題のための材料・用具の準備(40) 授業シートの作成(15)		
第13回 造形表現を「学び」の視点から捉える			レポート課題への取り組み(90)		
第14回 幼児期の終わりまでに育んでほしい資質・能力			レポート課題への取り組み(90)		
第15回 まとめ			レポート課題への取り組み(120)		
履修に必要な予備知識や技能: これまで履修した保育・教職関連科目の理解。 子どもや人間に対する興味と愛情! 向上心と学ぶ意欲!					
課題に対するフィードバック: 課題レポートは添削の上、課題ごとに10段階、5段階等の評価を付し、返却する。授業シートなど提出物へのコメント。					
評価方法・基準: 課題レポートおよび他提出物 70% 受講態度 30%					
教科書: 教科書: 「保育をひらく造形表現」槇英子(萌文書林) 参考書: 「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型こども園 教育・保育要領解説」「保育所保育指針解説書」					
備考: 本科目は大学・学科行事や他の関連科目の進行、次年度の造形表現系科目の内容等を考慮し、より効果的な学びを優先して創造的に展開します。 また、本科目は自らのからだと心の実感を通して「子ども」と「表現」の理論理解に繋げることを意図するため、講義は演習を伴うものとなります。					
実務経験の内容・期間: 特別支援学校教諭(2年)、保育士(2年)、中学校教諭(1年)、美術造形活動講師(12年)					